

News!

北浦中・南部で「水がわり」発生
の兆候が見られる。

■ 数年ぶりに北浦で「水がわり」発生か？

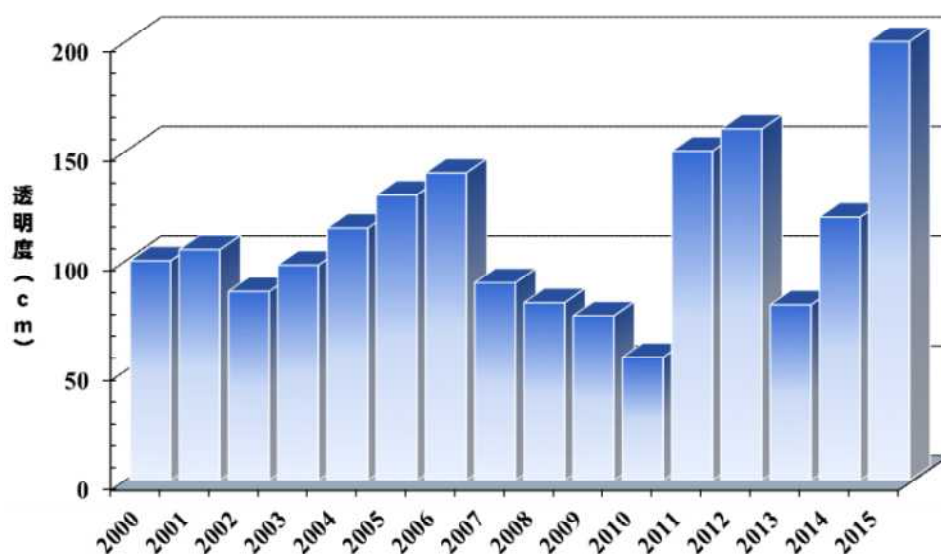


図 北浦白浜水域の6月透明度推移

6月1日の観測調査で北浦の透明度を測定したところ、鹿行大橋以南の水域で高い値が観測され、例年よりも水が澄んでいることが分かりました。特に白浜地先の水域では透明度が2m近くあり、6月の値では近年最高値でした。北浦で6、7月に透明度が2m近くになることは稀で、この現象は「水がわり」と呼ばれています。水がわりは水に動きが無く高水温等が続くと発生し易くなると考えられています。今年の北浦周辺は5月に雨が少なく、気温が高かった為、発生条件が整ったようです。

なお、水中のプランクトンが少なくなることによって透明度が上がるため、本格化すると湖の底まで見えるようになります。また、長期化すると植物プランクトンの枯死による酸欠や魚の逃避で不漁になる等、環境や漁業へ影響が現れるようになります。幸い6月5日に当試験場職員が調査を行ったところ透明度は例年並みになっており、今回の水がわりは短期間で解消する見込みですが、今後も再発生する恐れがあるため、引き続き注意が必要です。